

令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

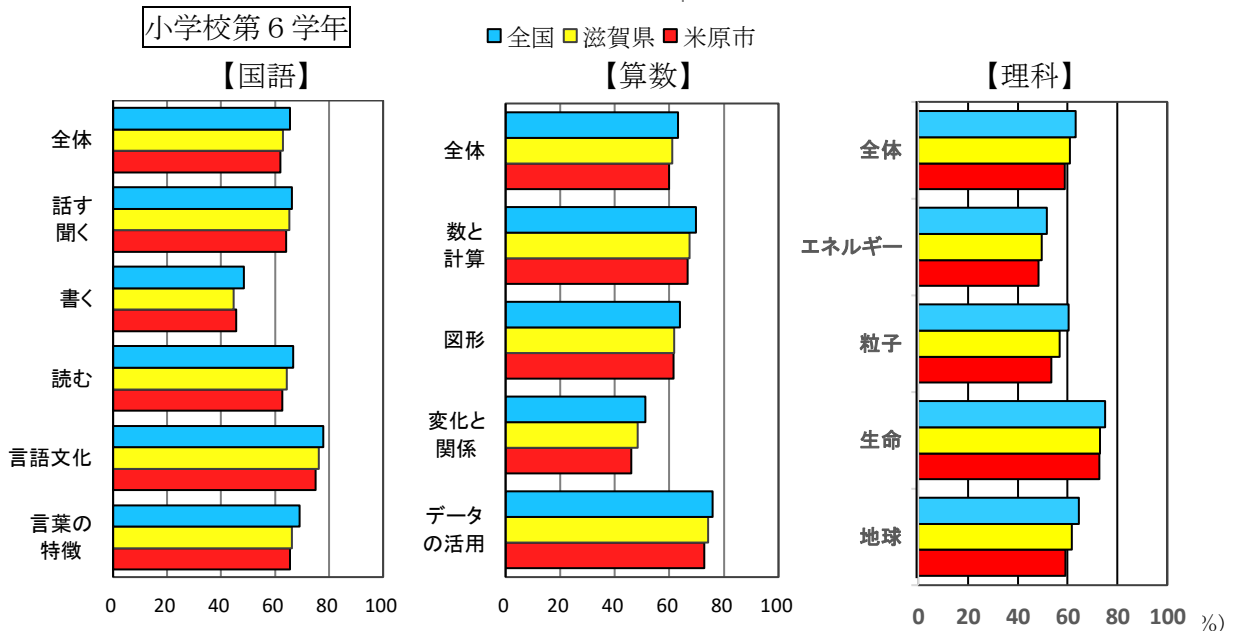
義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象および内容

- ・調査対象 … 小学校第6学年（市内9校）303人、中学校第3学年（市内6校）296人
- ・調査内容 … 教科に関する調査
 - ・小学校第6学年：国語、算数、理科（各45分）
 - ・中学校第3学年：国語、数学、理科（各50分）
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査（20～40分程度）
 - ・学校に対する調査
- ・調査期日 … 令和4年4月19日（火）

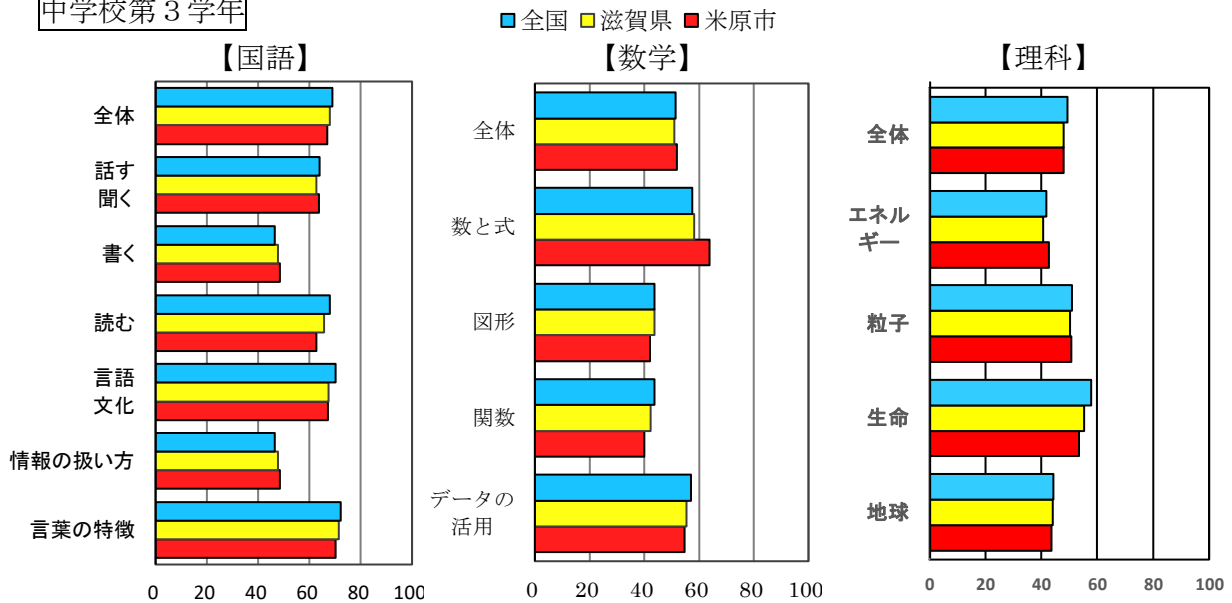
2 教科に関する調査の結果

(1) 標準学力調査の平均正答率



国語は滋賀県、全国平均と比べて下回る。特に、「読むこと」「言葉の特徴」に課題がある。
算数は滋賀県、全国平均と比べて下回る。特に、「変化と関係」に課題がある。
理科は滋賀県、全国平均と比べて下回る。特に、「粒子」「地球」に課題がある。

中学校第3学年



国語は滋賀県、全国平均と比べてわずかに下回る。「読むこと」「言語文化」に課題が見られる一方で、「書くこと」「情報の扱い」では、滋賀県、全国平均を上回っている。

数学は滋賀県、全国平均と比べてわずかに上回る。「関数」に課題が見られる一方で、「数と式」では、滋賀県、全国平均を大きく上回っている。

理科は滋賀県と同程度、全国平均と比べてわずかに下回る。「生命」に課題が見られる一方で、「エネルギー」では、滋賀県、全国平均を上回っている。

(2) 正答率が低かった問題

① 小学校第6学年【国語】「書くこと」「思考・判断・表現」

③ 二 島谷さんは、川口さんと【文章2】を読み合い、感想を伝え合いました。次の【伝え合いの様子の一部】をよく読み、あとの問いにこたえましょう。

(問い) 島谷さんは、川口さんと伝え合ったことをもとに、自分の文章のよさをふり返り、書くことにしました。あなたが島谷さんなら、どのようなよさを書きますか。次の条件に合わせて書きましょう。

<条件>○【文章2】のよさを書くこと。

○【文章2】から言葉や文を取り上げて書くこと。

○六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

3 島谷さんの学級では、「六年生としてがんばりたいこと」を書くことにしました。次は、島谷さんが最初に書いた「文章1」と書き直した「文章2」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【文章1】

わたしは、五年生の時、美化委員長長の南さんが卒業する前に話してくれた、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたという活動がすばらしいと思います。

この話を聞き、五年生の時にさيبい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをはんせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思っただけです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を知ってほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をろくがして、各学級にしようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさيبい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをイはんせしました。

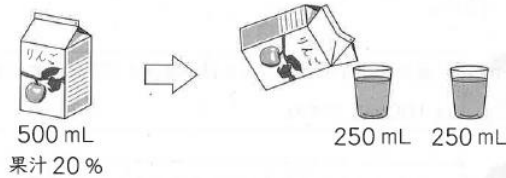
わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にしようかいしたいです。

【伝え合いの様子の一部】

島谷さん 私のがんばろうとしていることが伝わるかな。
川口さん 伝わってきたよ。それは、上級生が話してくれたことや、委員会で活動したことをもたしているからだね。
島谷さん それはよかった。他に気づいたことはあるかな。
川口さん 最後の段落がいいね。なぜかという点、最初の段落の内容をより具体的に書いてあるから、今年ががんばろうとしていることがくわしく伝わってきたよ。
島谷さん ありがとう。自分でもふり返ってみるね。次は、川口さんの文章を読んだ感想を伝えるね。
5 (伝え合いが続く) 5

② 小学校第6学年【算数】「変化と関係」「知識・技能」

2 (3) りんごの果汁が20%ふくまれている飲み物が500mLあります。この飲み物を2人で等しく分けると、1人分は250mLになります。



250 mLの飲み物にふくまれている果汁の割合について、次のようにまとめます。

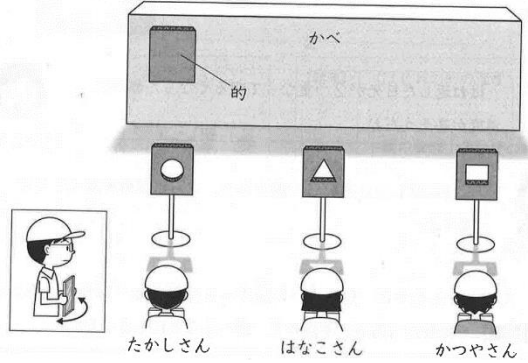
250 mLは、500 mLの $\frac{1}{2}$ の量です。
このとき、

上のアにあてはまる文を、下の 1 から 3 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合も $\frac{1}{2}$ になります。
- 2 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になると、果汁の割合は2倍になります。
- 3 飲み物の量が $\frac{1}{2}$ になっても、果汁の割合は変わりません。

③ 小学校第6学年【理科】A区分「エネルギー」を柱とする領域 「知識・技能」

3 (1) たかしさんは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切り抜いた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

④ 中学校第3学年【国語】 「我が国の言語文化に関する事項」「知識・技能」

4 一 【最初に書いた文字】について、青山さんは「行書の特徴を踏まえて書くことができる」と述べていますが、その具体的な内容として最も適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 ㉞の部分は、筆順の変化に気を付けて書くことができる。
- 2 ㉟の部分は、楷書と同様に点画を直線的に書くことができる。
- 3 ㊱の部分は、点画を省略して書くことができる。
- 4 ㊲の部分は、点画を連続して書くことができる。



【書き直した文字】



【最初に書いた文字】

4 竹内さんは、行書で「夢と希望」という文字を書いています。次の「最初に書いた文字」、「書き直した文字」を読んで、あとの問いに答えなさい。

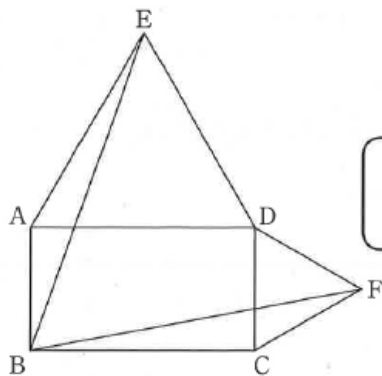
【友達や先生からの助言】

- 先生: 漢字については青山さんの言うとおりですが、ひらがなの「と」についても課題がありそうですね。
- 青山さん: 全体的に行書の特徴を踏まえて書くことができていると思います。ただ、漢字のバランスが悪いような気がします。先生、どうでしょうか。
- 竹内さん: 行書の点画の書き方に気を付けて書いてみましたが、どうでしょうか。

⑤ 中学校第3学年【数学】「図形」「思考・判断・表現」

9 次の図1は、長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFをかき、点Eと点B, 点Bと点Fを結んだものです。

図1



琴音さんは、線分EBと線分BFについて次のことを予想しました。

予想

長方形ABCDの外側に辺AD, DCを1辺とする正三角形ADE, DCFがあるとき、 $EB = BF$ になる。

(2) 琴音さんは、次の図2や図3のように、21ページの図1の長方形ABCDの辺の長さをいろいろに変えた図をかきました。このときも、 $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ が成り立つので、 $EB = BF$ がいえます。琴音さんは、 $EB = BF$ 以外にも、辺や角についていえることがないか調べました。

図2

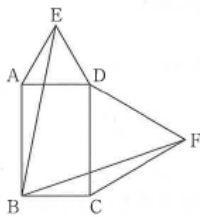
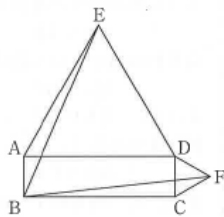


図3

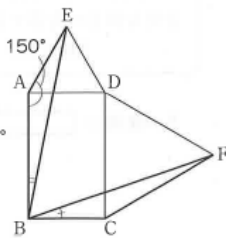


調べたことから、琴音さんは、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になると予想し、次のように考えました。

琴音さんの考え

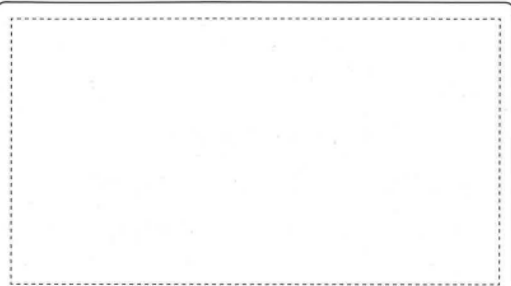
① $\angle EBF$ について、
 $\angle ABC = 90^\circ$ より、
 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ がいえれば、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ$ となり、
 $\angle EBF$ が 60° になることがいえる。

② $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることは、 $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ からわかる等しい角と、
 $\angle EAB = 150^\circ$ を用いて示すことができる。



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ を示すことで、長方形ABCDの辺の長さを変えても、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることが説明できます。琴音さんの考えの②にある $\triangle ABE \cong \triangle CFB$ と $\angle EAB = 150^\circ$ はすでにわかっていることとして、 $\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることを下の説明の□に示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成しなさい。

説明



$\angle ABE + \angle CBF = 30^\circ$ になることが示せたので、
 $\angle EBF = 90^\circ - (\angle ABE + \angle CBF)$ より、
 $\angle EBF = 90^\circ - 30^\circ = 60^\circ$ になる。

⑥ 中学校第3学年【理科】「エネルギーを柱とする領域」「知識・技能」

5 ばねを押すとき、加える力の大きさとばねが縮む長さの関係について、理科の授業で科学的に探究しました。

押して使うばねを探究する場面

ばねののびは、加える力の大きさと比例の関係がありました。

ばねは、生活の中で押して使うことが多いですね。

ばねを押すときも、比例の関係が成り立つのかな。

押して使うばね

ボールペンのばね
自転車のサドルの下にあるばね

ノートの一部

【課題】
ばねが縮む長さは、加える力の大きさに比例するか。

【実験の計画】
図1の装置をつくり、ばねに加える力の大きさを変化させたときのばねの長さを3回測定して平均をとり、ばねが縮む長さを計算してグラフに表す。

透明なプラスチックの筒
おもり
ばねが縮む長さ
ばね
床

図1

【実験の結果】

力の大きさ(N)	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
ばねの長さ(cm)	10.0	8.0	6.0	4.0	4.0	4.0
縮む長さ(cm)	0	2.0	4.0	6.0	6.0	6.0

【考察】
.....

(1) 図2のように、ばねにのせたおもりが静止したとき、矢印で表したおもりにはたらく重力とつり合う力を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

また、選んだ力の説明として適切なものを、下の力からケまでの中から1つ選びなさい。

図2 おもりにはたらく重力

ア イ ウ エ

カ おもりがばねを押す力
キ ばねがおもりを押す力
ク おもりが床を押す力
ケ 床がおもりを支える力

<調査結果のポイント>

【小学校国語】

- 互いの立場を尊重して話し合いを進めるうえで、必要なことを質問して話の中心を捉えることはできているが、学習指導要領で新たに示された、相手とのつながりをつくる言葉の働きを捉えることに課題が見られる。
- 本調査で初めて取り上げた、文章の構成や展開について感想や意見を伝え合うことを通して自分の文章のよさを見付けることに課題が見られる。

【中学校国語】

- 「書くこと」及び「情報の扱い方に関する事項」（学習指導要領に新設）に係る出題において、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書くことに課題が見られる。
- 「話すこと・聞くこと」に係る出題において、具体的な助言があればスピーチの表現を工夫することはできているが、話し方の工夫について自分で考えることに課題が見られる。
解してある項目に当たる数を求めることはできているが、目的に合う円グラフを選び、読み取った情報を答えることに課題が見られる。

<調査結果のポイント>

【小学校算数】

- 学習指導要領に新設された「データの活用」の領域において、表の各欄と合計覧の意味を理解してある項目に当たる数を求めることはできているが、目的に合う円グラフを選び、読み取った情報を答えることに課題が見られる。
- 日常生活の場面に即して、数量が変わっても割合は変わらないことを理解することに課題が見られる。

【中学校数学】

- 「データの活用」領域において、多数回の試行によって得られる確率の意味の理解には改善の傾向が見られる。一方で、学習指導要領において統計的内容が充実したことを踏まえ初めて出題した「箱ひげ図」からデータの分布の特徴を読み取ることに課題が見られる。
- 「関数」の領域において、日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題が見られる。

<調査結果のポイント>

【小学校理科】

- 学習指導要領で重視されている問題解決の力を踏まえて初めて出題した「問題の見だし」（身の回りの生物や物の溶け方に関すること）については、気づいたことを基に分析して解釈し、適切な問題を見いだすことに課題が見られる。
- 観察、実験などに関する技能については、実験の過程や得られた結果を適切に記録したものを選ぶことはできている。一方、自然の現象（水の状態変化）については、知識を日常生活に関連付けて理解することに引き続き課題が見られる。

【中学校理科】

- 学習指導要領において科学的に探究する学習が重視されていることを踏まえ、探究の過程における検討や改善を問う設問について、他者の考えの妥当性を検討したり、実験の計画が適切か検討して改善したりすることに課題が見られた分野がある（力の働き、天気の変化等）
- 過去に課題が見られた実験の計画における条件の制御については、改善の状況が見られる。

3 質問紙調査の結果

(1) 質問紙調査の肯定値

① 「肯定値」とは

肯定値…4択の質問を対象に、各選択肢に次の配点で得点を与え、カテゴリ毎に算出した
平均値に25を掛けた値。

最も望ましい／良好な選択肢（強い肯定）に「配点：4」
 次に望ましい／良好な選択肢（弱い肯定）に「配点：3」
 改善／配慮を要する選択肢（弱い否定）に「配点：2」
 特に改善／配慮を要する選択肢（強い否定）に「配点：1」

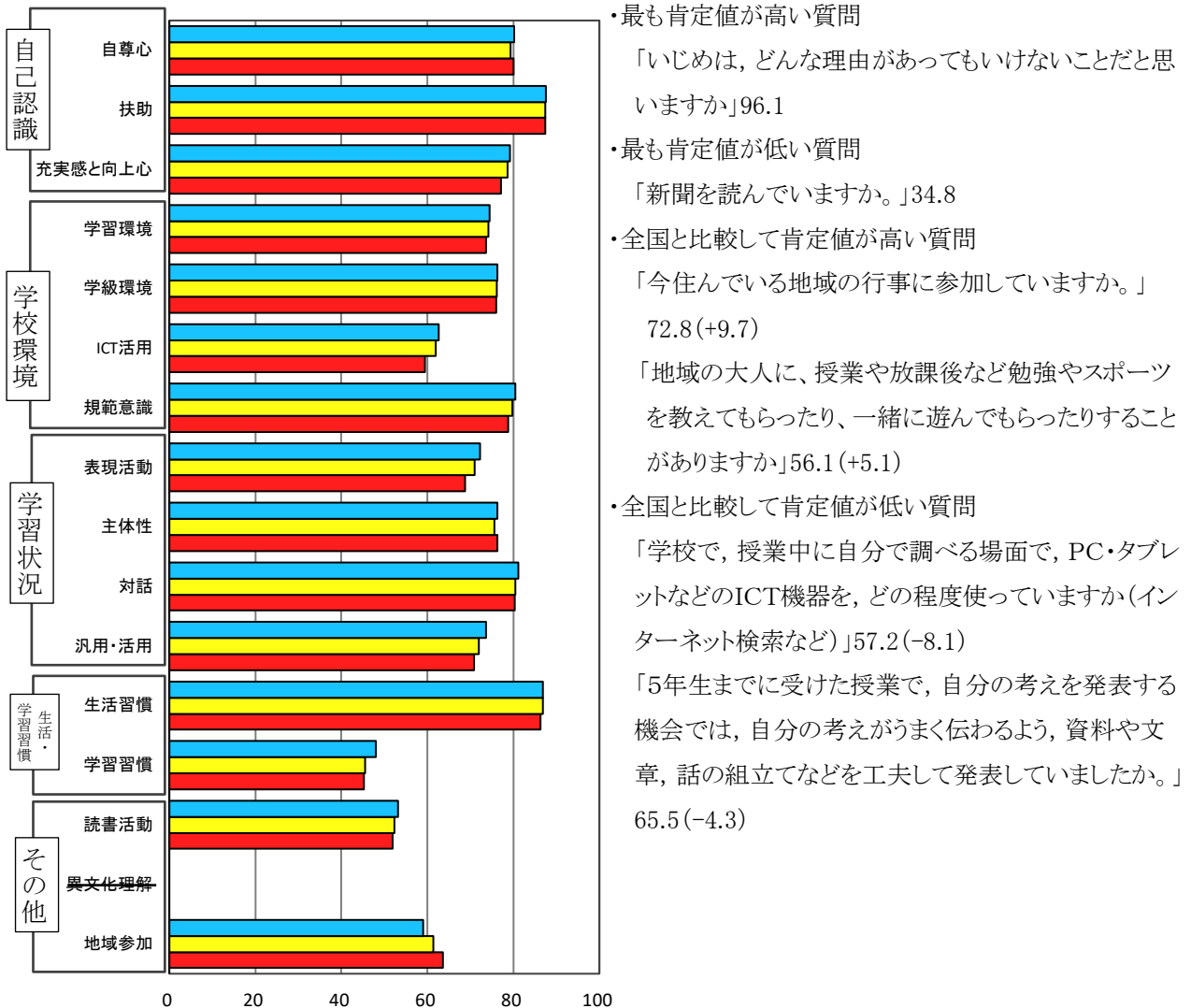
② カテゴリー分類

- I 自己認識 ⇒ 「自尊心」「扶助」「充実感と向上心」
- II 学校環境 ⇒ 「学習環境」「学級環境」「ICT活用」「規範意識」
- III 学習状況 ⇒ 「表現活動」「主体性」「対話」「汎用・活用」
- IV 生活・学習習慣 ⇒ 「生活習慣」「学習習慣」
- V その他 ⇒ 「読書活動」「異文化理解」「地域参加」

※各教科に関することや解答時間、
 などの質問は集計から除外。
 ※「異文化理解」に関わる質問は、
 今年度はなかった。

③ 小学校第6学年の肯定値

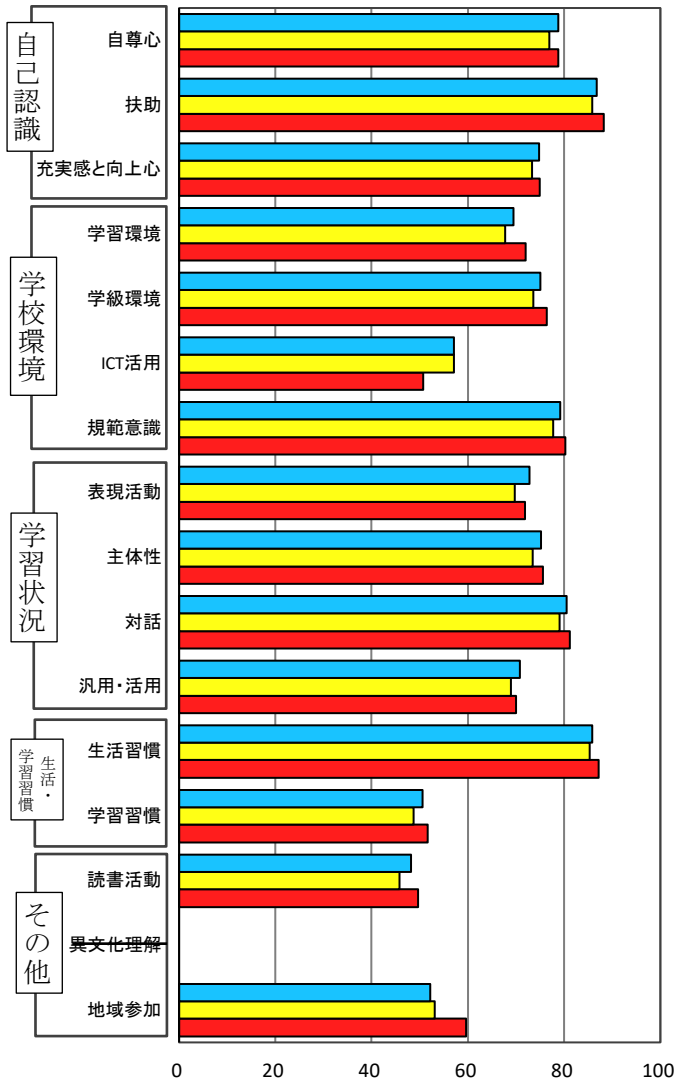
■全国 ■滋賀県 ■米原市



「自尊心」「扶助」「対話」「生活習慣」の値が8割を超えて良好である。全国と比較すると、「地域参加」の値が高く、「ICT活用」「表現活動」に課題が見られる。改善案としては、学習内容や調べた内容について、プレゼンテーションソフト等のICTを使ってまとめ、発表するなどの表現活動を取り入れることが挙げられる。

④ 中学校第3学年の肯定値

■全国 ■滋賀県 ■米原市



- ・最も肯定値が高い質問
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」97.3
- ・最も肯定値が低い質問
「新聞を読んでいますか。」37.5
「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか。」39.3
- ・全国と比較して肯定値が高い質問
「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」71.6(+16.3)
「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」77.7(+5.8)
- ・全国と比較して肯定値が低い質問
「1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」57.7(-11.8)
「学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか(インターネット検索など)。」52.4 (-10.3)

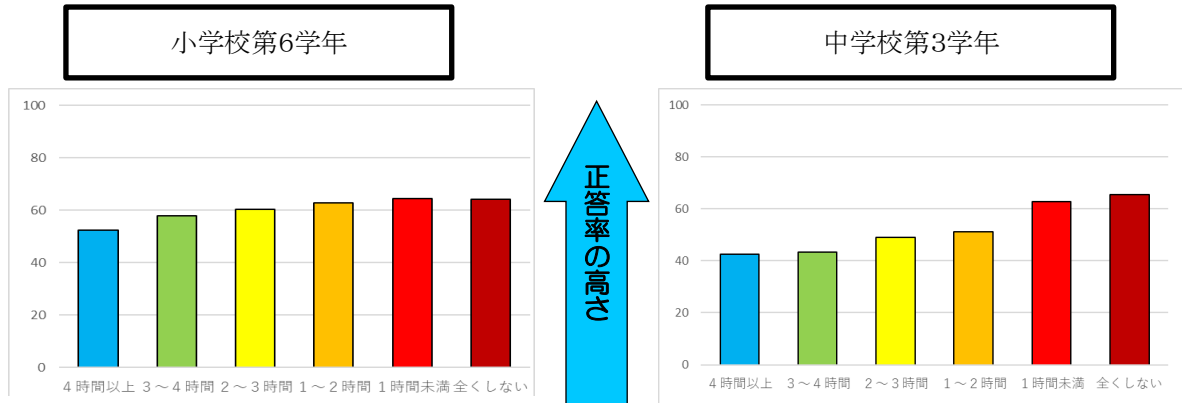
「扶助」「規範意識」「対話」「生活習慣」の値が8割を超えて良好である。多くの項目で全国平均を上回っているが、全国と比較すると、「地域参加」の値が特に高く、「ICT活用」に大きな課題がある。改善案としては、授業後の振り返りにおいてICTを活用し、友だちの考えや学びから、自分の考えを再構築する活動を習慣化することなどが挙げられる。

(2) 学力調査結果とのクロス集計

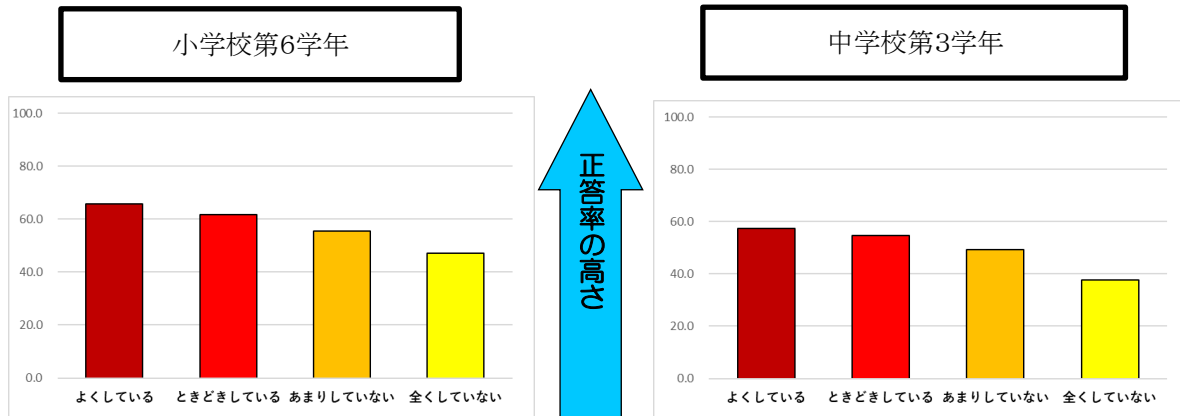
(質問紙調査における児童生徒が回答した選択肢別の算数(数学)の平均正答率)

【IV 生活・学習習慣】

①「普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか」



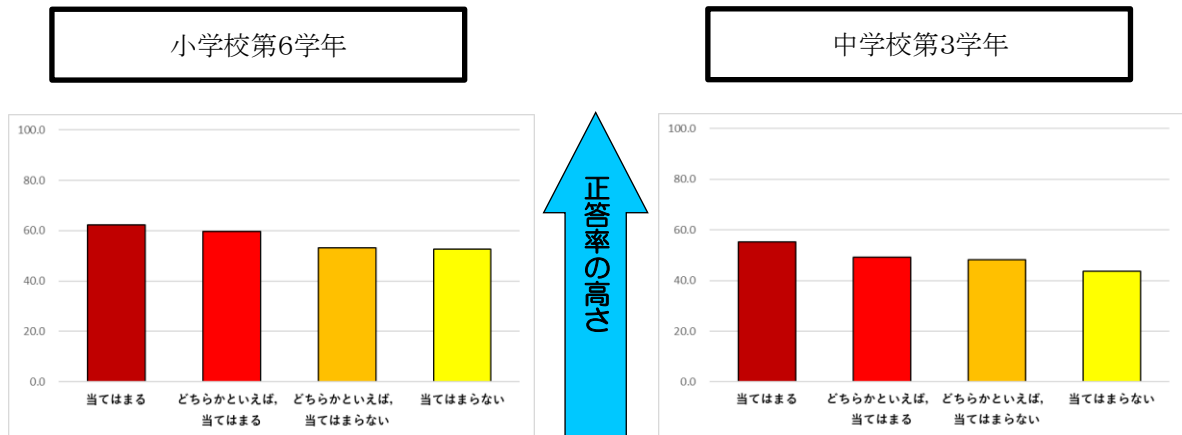
②「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか(学校の授業の予習や復習を含む)。」



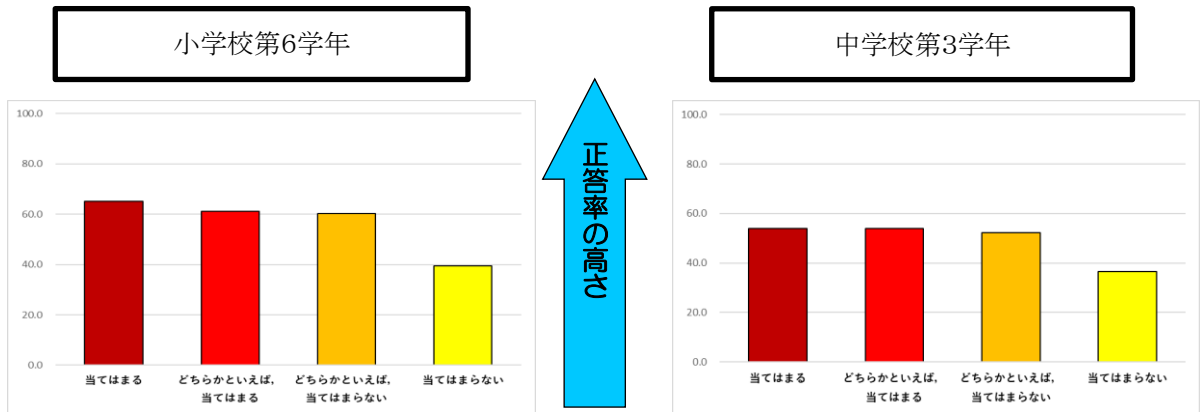
- ・児童生徒ともに、1日当たりのゲームの時間が長いほど、平均正答率が低い傾向が見られる。
- ・児童生徒ともに、家で、自分で計画を立てて勉強をしているほど、平均正答率が高い傾向が見られる。

【II 学校環境】

③「学校に行くのは楽しいと思いますか。」



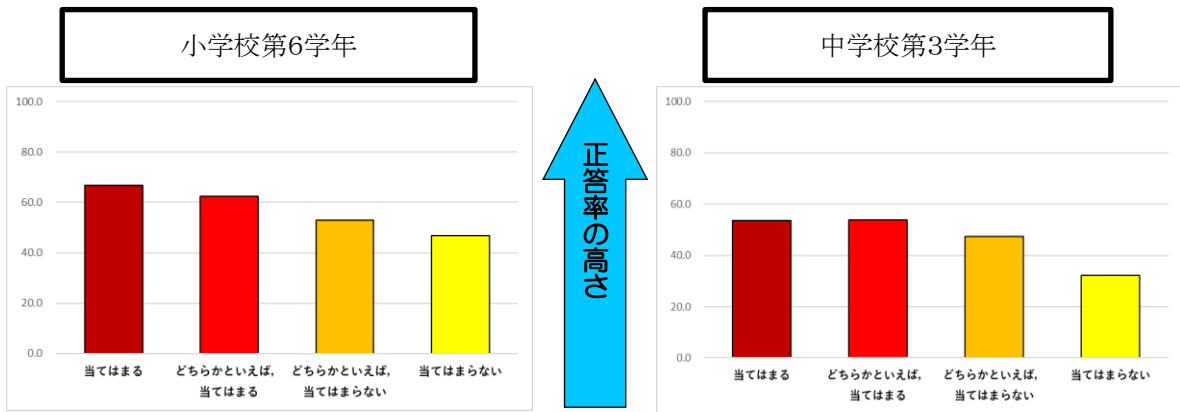
④「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか。」



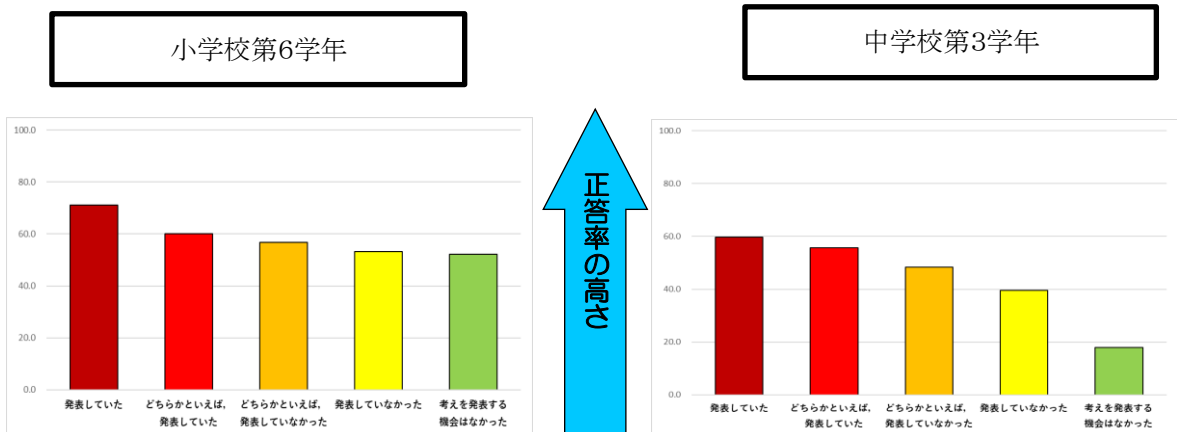
- ・学校に行くのは楽しいと感じている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。
- ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合っ、解決方法を決めていると感じている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。

【Ⅲ 学習状況】

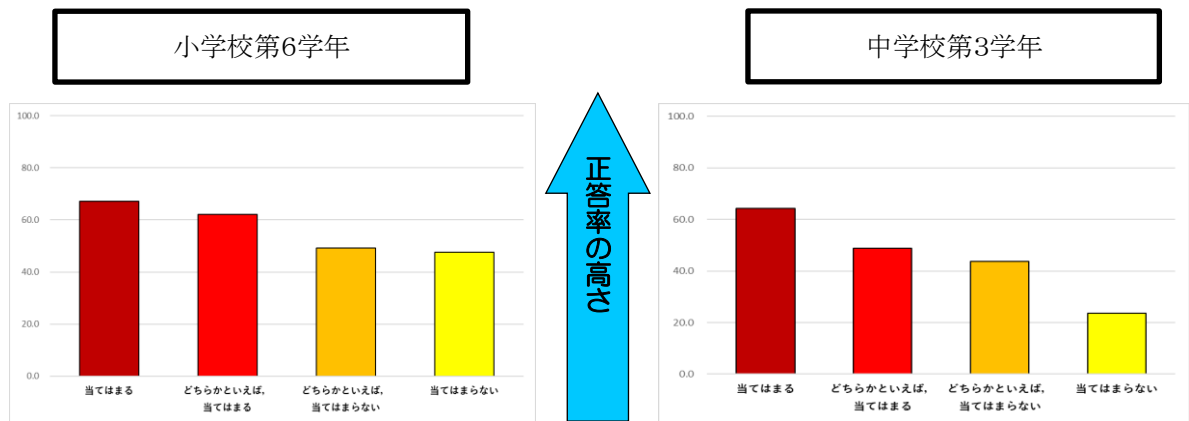
⑤「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。」



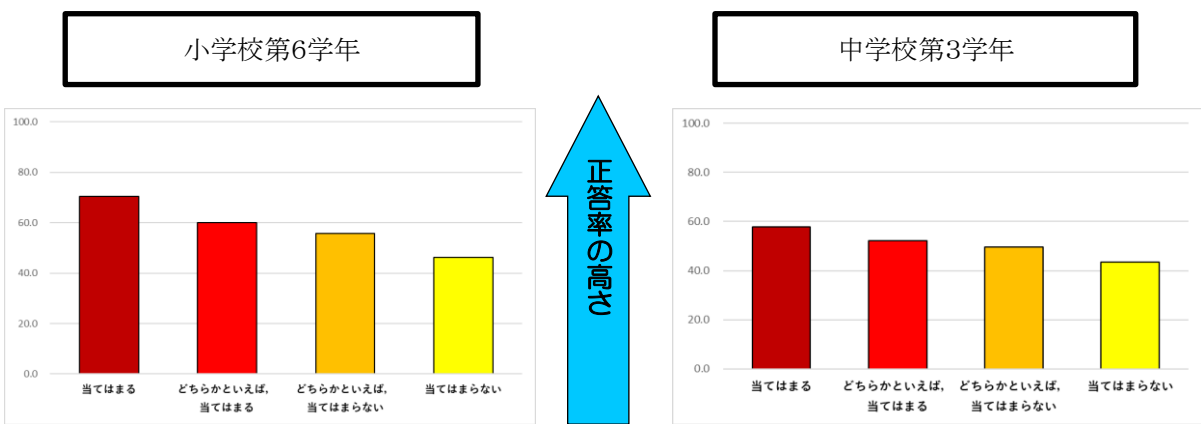
⑥「これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」



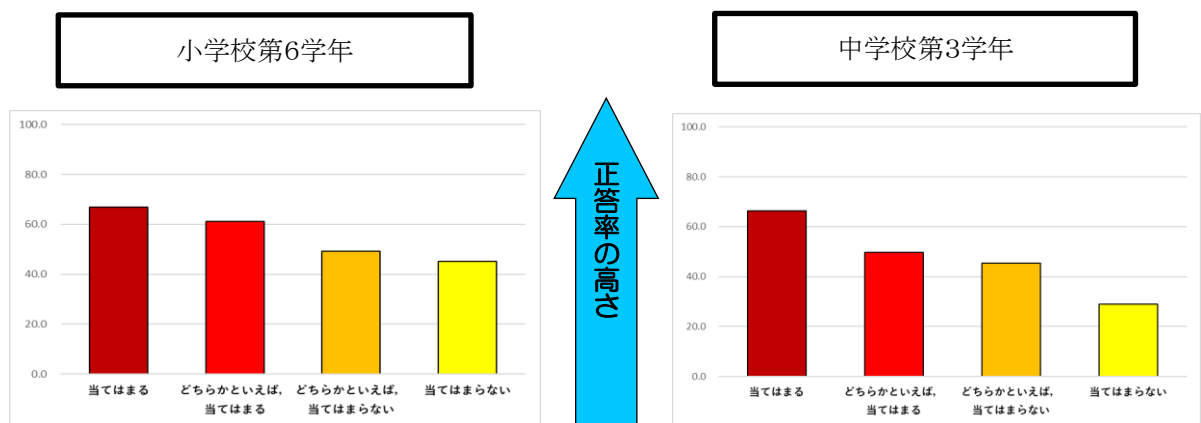
⑦「これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」



⑧「これまでに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」



⑨「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」



- ・課題解決に向けて、自分で考え、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、発表内容について資料を基に工夫したりする児童生徒ほど、平均正答率が高い傾向にある。
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげていると感じている児童生徒ほど平均正答率が高い傾向にある。